

この人

頭痛、腰痛、肩こりなど原因のハッキリしない不定愁訴といわれる症状。実はかみ合わせの不具合や歯科金属アレルギーが原因だともいわれ、歯は体全体の健康をつかさどる重要な要素として、その重要性が見直されて

いる。越久村歯科医院の院長、越久村真一さんはかみ合わせと歯科金属が身体に及ぼす影響を長年に渡って研究し、治療にも取り入れてきた。現在では地元の京都はもちろん、滋賀や大阪などの遠方からも越久村さんの治療を頼って患者が訪れるという。

（漆崎 真人）

越久村歯科医院 院長 越久村真一さん



プロフィール
（おくむら・しんいち）
1953年生まれ。大阪府立北野高校卒業後、東京医科歯科大学歯学部卒業。出光興産千葉製油所歯科診療室勤務。1982年越久村歯科医院開業。CMA歯科臨床研究会など多数の会に所属。

「インプラントや詰め物で歯に使われるものには、金属・セラミックなどさまざまな種類の異物があります。人の体は敏感で、それら体にとっての異物を潜在的に評価し、合う合わないを判断する。これを生体親和性といいます。できるだけ体が嫌がらないものを身につけることが非常に大切なことなのです」と越久村さんはいう。

「骨に穴をあけるインプラントよりも負担が少なく安価。入れ歯特有の異物感がなく、入れ歯部分でしっかり噛むことができ、食事を楽しむことができます。自分の歯と錯覚するほどのフィット感を感じることができます。インプラントにする必要はないくらい優れた入れ歯です」

「歯は呼吸器であり、かみ合わせの高さが睡眠中の呼吸のしやすさにつながっています。气道を広げられるには、下の歯を取り入れるには、下の歯を前に出させるよう誘導させてやることです」

「歯は呼吸器であり、かみ合わせの高さが睡眠中の呼吸のしやすさにつながっています。气道を広げられるには、下の歯を取り入れるには、下の歯を前に出させるよう誘導させてやることです」

「今後患者さんがいつまでも健康な歯でいられるよう、最善の治療法を提供してあげたい」と熱く語った。

「今後患者さんがいつまでも健康な歯でいられるよう、最善の治療法を提供してあげたい」と熱く語った。

全身の健康を考えた治療を実践

「今後患者さんがいつまでも健康な歯でいられるよう、最善の治療法を提供してあげたい」と熱く語った。

「今後患者さんがいつまでも健康な歯でいられるよう、最善の治療法を提供してあげたい」と熱く語った。

「今後患者さんがいつまでも健康な歯でいられるよう、最善の治療法を提供してあげたい」と熱く語った。

「今後患者さんがいつまでも健康な歯でいられるよう、最善の治療法を提供してあげたい」と熱く語った。

「今後患者さんがいつまでも健康な歯でいられるよう、最善の治療法を提供してあげたい」と熱く語った。

「今後患者さんがいつまでも健康な歯でいられるよう、最善の治療法を提供してあげたい」と熱く語った。

「今後患者さんがいつまでも健康な歯でいられるよう、最善の治療法を提供してあげたい」と熱く語った。

「今後患者さんがいつまでも健康な歯でいられるよう、最善の治療法を提供してあげたい」と熱く語った。

「今後患者さんがいつまでも健康な歯でいられるよう、最善の治療法を提供してあげたい」と熱く語った。

「今後患者さんがいつまでも健康な歯でいられるよう、最善の治療法を提供してあげたい」と熱く語った。

http://www.okumura-dental.com/